

# 村松商工会「令和5年度 景況調査」報告書

(様式④)

組織番号： 0 2 2

商工会名： 村松商工会

報告者名： 室長代理 本間 一志

## 1. 調査要領

(1) 調査対象 (R05. 11. 01現在の商工会普通会員に配布)

- ① 対象地区 村松商工会地区内小規模事業者及び中小企業者
- ② 対象企業数 428 社 (うち小規模事業者数 406 社)
- ③ 回答企業数 **302** 社 (うち小規模事業者数 **287** 社)  
(回答率： **70.6%** )

(2) 調査対象期間

令和5年7月～令和5年12月

(調査時点：令和5年12月1日現在)

(3) 調査方法

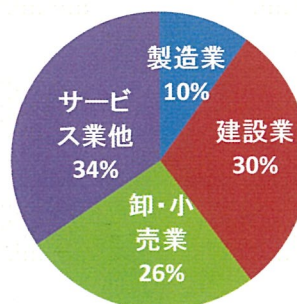
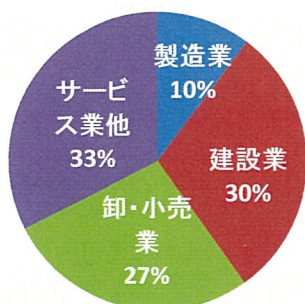
経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査  
及び郵送による配布・回収

(4) 調査対象と回答企業の構成

業 種	調査対象		有効回答		
	企業数	構成比	企業数	構成比	業種別回収率
製 造 業	44	10.3%	<b>30</b>	9.9%	68.2%
建 設 業	128	29.9%	<b>90</b>	29.8%	70.3%
卸・小売業	117	27.3%	<b>78</b>	25.8%	66.7%
サービス業他	139	32.5%	<b>104</b>	34.4%	74.8%
合 計	428	100.0%	<b>302</b>	100.0%	70.6%

《調査対象企業数/ 428社》

《有効回答企業数/ 302社》



## 2. 地域内産業全体の景況概要

地区内会員事業所の景況は、新型コロナウイルスの「5類」移行により経済社会活動の正常化に向けた動きが出て、サービス消費を中心とした消費回復が見られたことから、「売上高」において増加との回答が約20%となるなど明るい兆しがうかがえた。一方でウクライナ情勢等、地政学リスクの高まりや円安の進行、物価・資源価格の高止まり等の影響を受け、「仕入単価」の「上昇」との回答が約68%前後となった他、「採算」の「悪化」との回答が約40%前後と事業経費の増加に伴い収益力は低下しており、業績回復には至っていない。「雇用動向」では、「不変」との回答が全体の約83%前後であったものの、前年度調査と比べ「増加」との回答は約3ポイント改善。特に、建設業において人材不足解消のため外国人労働者を採用している事業所が増えている。「景況判断」における今後の見通しについて「悪化」との回答が52.8%となっており、引き続き物価高騰による収益悪化が懸念されるため、先行きに不安を感じている事業所は多いことがうかがえる。経営上の課題については、「仕入単価の上昇」、「需要の停滞」、「人件費以外の経費増加」が上位を占め、今後は財務内容の見直しを行うとともに仕入・経費管理を徹底し、経済環境の変化に対応した新事業開発を行う等、収益力向上対策が求められる。詳細は、以下のデータを参照のこと。

### 【後継者の状況】

回答企業全体の67.9% (205社/前年度調査68.1%、前年度比△0.2%)において、現時点で後継者が「無い」と回答。一部では事業承継が進んでいるものの、地区内小規模企業等(会員)における後継者難が大きな課題となっている。

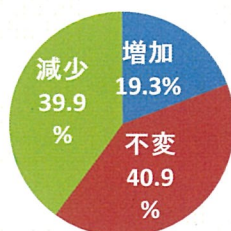
後継者 有	97社	32.1%
後継者 無	205社	67.9%

### 【売上高】

「売上高」は、新型コロナウイルス感染も落ち着き、徐々に消費活動が活発となったことから「増加」との回答が約20%と前年比6ポイントほど改善し、一部で緩やかに売上回復の兆しがうかがえた。一方で、約40%前後の事業所が「減少」と回答、「不変」と合わせると約81%前後あることから、未だ業績回復には至っていない事業所も多い。今後の見通しについても、「不変」、「減少」と予想する回答が89.7%を占め、コロナ前に戻る期待感は薄く、先行きを不安視している見方が強い。

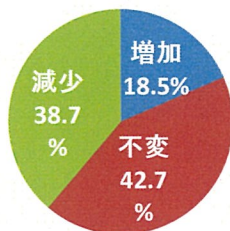
#### 前年同期比

増加	不変	減少
58	123	120



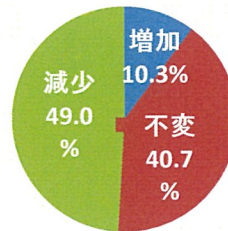
#### 前期比

増加	不変	減少
56	129	117



#### 今後の見通し

増加	不変	減少
31	123	148

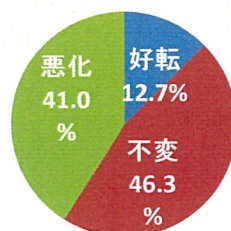


### 【採算（経常利益）】

「採算」については、「好転」との回答が前年比約4ポイント増加するとともに、「悪化」との回答が前年比約15ポイント前後減少したことから、一部事業所では緩やかに業績回復が進んでいることがうかがえた。しかし、今後の見通しとして業績が回復していない中「悪化」との回答が47.2%、「不変」との回答と合わせると93%となり、小規模事業者においては依然として価格転嫁ができておらず、経費増により厳しい状況が続くと見方が強く業績回復には時間を要するものと見受けられる。

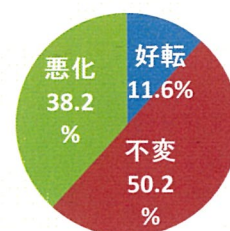
#### 前年同期比

好転	不変	悪化
38	139	123



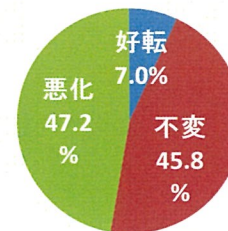
#### 前期比

好転	不変	悪化
35	151	115



#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
21	138	142

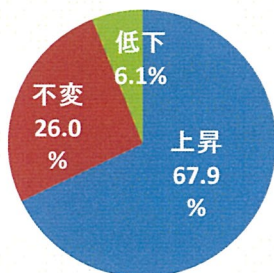


## 【仕入単価】

「仕入単価」については、「上昇」とする回答は約70%であり、以前と比べて微減傾向にあるものの原油等のエネルギー資源、原材料価格の高騰が要因となり、引き続き高い水準で推移している。物価高騰は今後も続くものと見込まれ、コスト負担増加に伴い事業所の収益を圧迫し、経営環境の厳しさが増すことが懸念されることから、さらに今後の経済環境の動向などを注視していく必要がある。

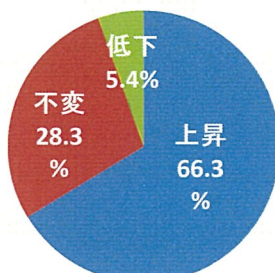
前年同期比

上昇	不変	低下
201	77	18



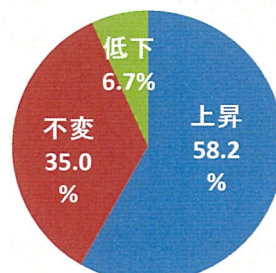
前期比

上昇	不変	低下
197	84	16



今後の見通し

上昇	不変	低下
173	104	20

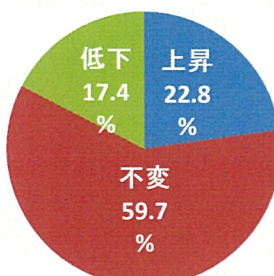


## 【販売（客）単価】

「販売（客）単価」については、「上昇」と回答した事業所が前年と比べ約5~6ポイント増加しており、個人消費の回復並びにコストに見合う価格転嫁の実施により一部で販売単価の改善がうかがえた。しかし、今後の見通しとしては、業績が低調傾向の中、さらに「不変」並びに「低下」との回答が78.6%となった。長期化する物価上昇が家計を圧迫し、賃上げ等が伴わない場合において消費意欲を減退させる要因となる見方が強い。そのため、新事業開発等による付加価値の向上が求められる。

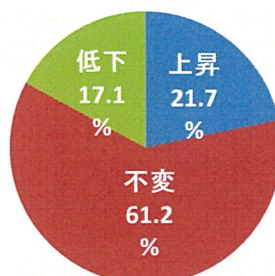
前年同期比

上昇	不変	低下
68	178	52



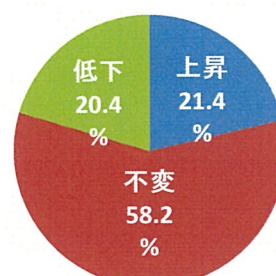
前期比

上昇	不変	低下
65	183	51



今後の見通し

上昇	不変	低下
64	174	61

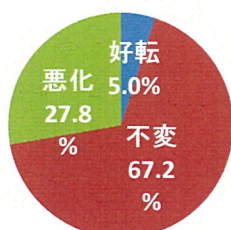


## 【資金繰り】

「資金繰り」については、「不変」が68%前後、「悪化」が25%前後となっており、前年度調査と比較してさほど変動はない。しかし、仕入や経営コストの負担増加に伴う採算性の悪化やコロナ対策融資の据置期間が終了し、返済負担増により資金繰りが悪化する事業所の増加が今後も懸念されることから、引き続きキャッシュフローを重視した対策を検討・実行しながら今後の資金繰りに注意していく必要がある。

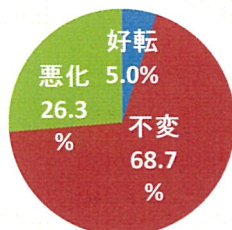
前年同期比

好転	不変	悪化
15	201	83



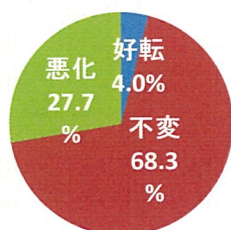
前期比

好転	不変	悪化
15	206	79



今後の見通し

好転	不変	悪化
12	205	83



## 【雇用動向】

雇用動向については、「不変」と回答した事業所が全体の約83%前後であったものの、前年度調査と比べ「増加」と回答した事業所は約3ポイント増加。一部事業所では人材を確保している傾向がうかがえ、業種によっては人材不足解消のため外国人労働者を採用している地区内事業所も増えてきている。今後も待遇改善や将来を見据えた人材採用、生産性向上のためのDX化の推進が求められる。

前年同期比

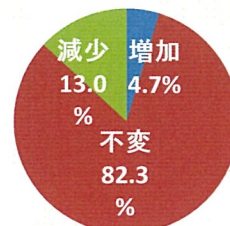
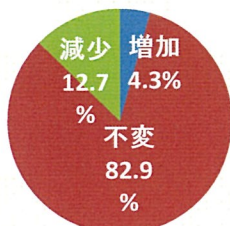
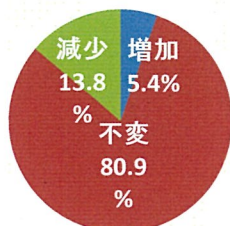
増加	不変	減少
16	241	41

前期比

増加	不変	減少
13	248	38

今後の見通し

増加	不変	減少
14	246	39



## 【景況判断】

景況判断については、「悪化」とする回答が減少しつつあるが、「不変」とした回答が各期とも増加となり、業績回復の見込が立たず引き続き厳しい状況が続いている。今後の見通しについても「悪化」との回答が52.8%となっており、長引く物価高騰による収益悪化が懸念されるため、先行きに不安を感じている事業所が多いことがうかがえる。

前年同期比

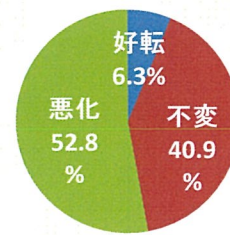
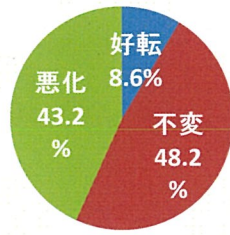
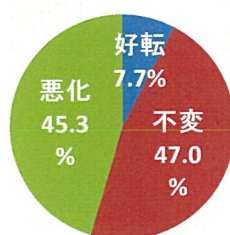
好転	不変	悪化
23	141	136

前期比

好転	不変	悪化
26	145	130

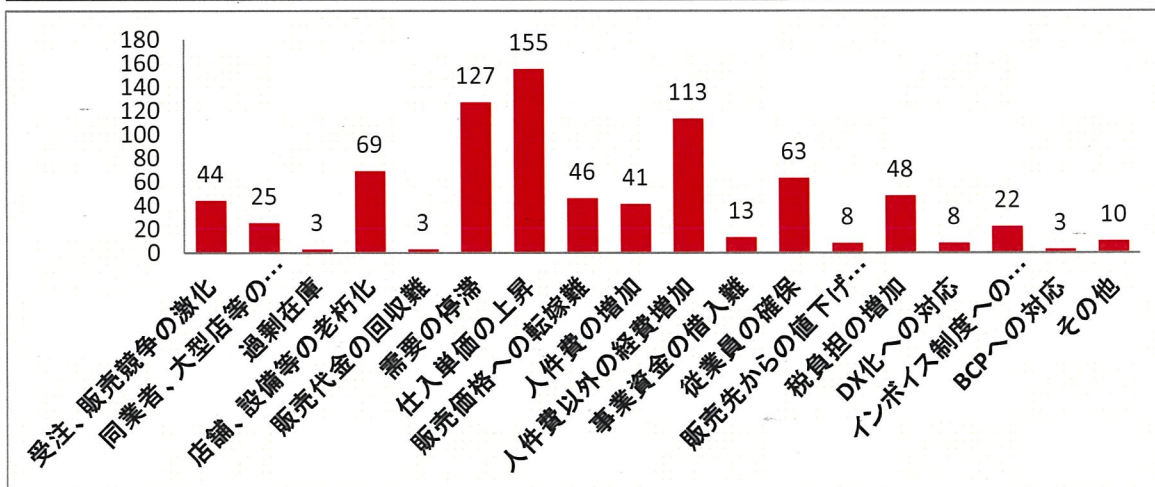
今後の見通し

好転	不変	悪化
19	123	159



## 【経営上の問題点】

1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「人件費以外の経費増加」となり、昨年度と同様の結果となった。世界情勢の変動に伴う物価高騰の影響により特に3位「人件費以外の経費増加」を課題としている事業所は、ほとんどの業種において前年度調査時より増加となり、収益力を低下させている要因となっている。また、「インボイス制度への対応」について制度導入による事務負担の増加や取引先への対応に苦慮している様子も見受けられた。今後も物価高の影響は続くものと見込まれることから、財務内容の見直しを行うとともに、仕入・経費管理を徹底し、経済環境の変化に対応した新商品・サービスの開発を行うことで収益力を向上させる取組が求められる。



### 3. 産業(業種)別景況概要

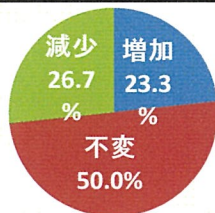
#### (1) 製造業

コロナウイルスの影響が緩和されたことにより受注量、生産量は徐々に回復しつつあり、業況が一部持ち直してきていることから、後期(7月~12月)における「売上高」が「増加」と回答した事業所は前年比8.4ポイント増加となるなど安定している。「仕入単価」については、原材料、資材、燃料などの高止まり、賃上げに伴う人件費の増加など製造原価が増加している。消費者の購買意欲が低下する懸念があることから販売価格の値上げにも限界もあり、業況悪化の要因となりうる。ただ、今後の見通しとして、「売上高・採算・販売単価・雇用動向」において前年比好転するとの見方が多く、今後の業況回復に対する期待感がうかがえる。経営上の問題点では「仕入価格の上昇」、「需要の停滞」が上位を占め、生産性向上対策を検討・実施することが求められる。

#### 【売上高】

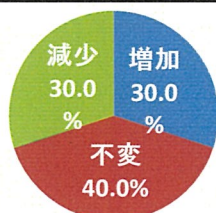
前年同期比

増加	不変	減少
7	15	8



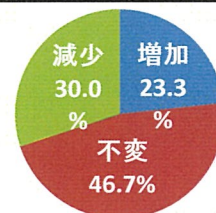
前期比

増加	不変	減少
9	12	9



今後の見通し

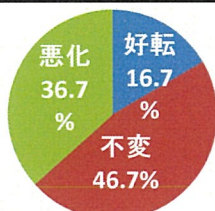
増加	不変	減少
7	14	9



#### 【採算】

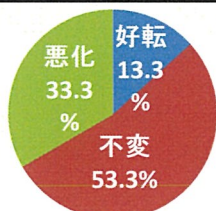
前年同期比

好転	不変	悪化
5	14	11



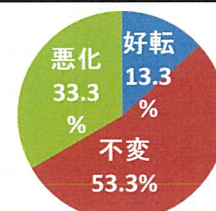
前期比

好転	不変	悪化
4	16	10



今後の見通し

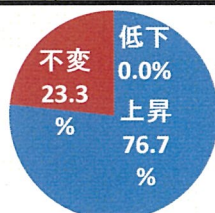
好転	不変	悪化
4	16	10



#### 【仕入単価】

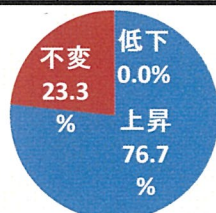
前年同期比

上昇	不変	低下
23	7	0



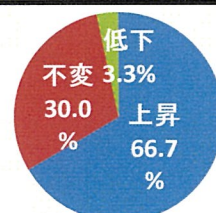
前期比

上昇	不変	低下
23	7	0



今後の見通し

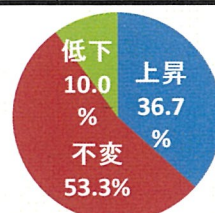
上昇	不変	低下
20	9	1



#### 【販売(客)単価】

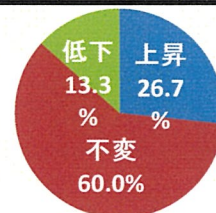
前年同期比

上昇	不変	低下
11	16	3



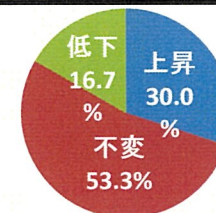
前期比

上昇	不変	低下
8	18	4



今後の見通し

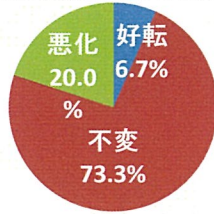
上昇	不変	低下
9	16	5



### 【資金繰り】

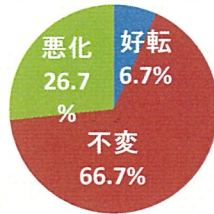
前年同期比

好転	不変	悪化
2	22	6



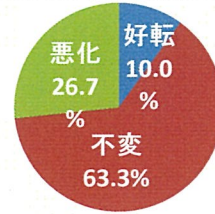
前期比

好転	不変	悪化
2	20	8



今後の見通し

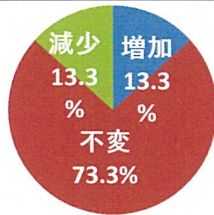
好転	不変	悪化
3	19	8



### 【雇用動向】

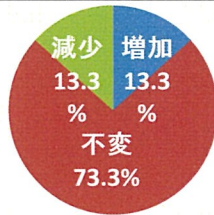
前年同期比

増加	不変	減少
4	22	4



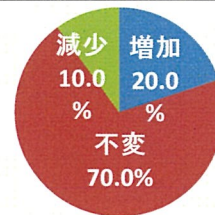
前期比

増加	不変	減少
4	22	4



今後の見通し

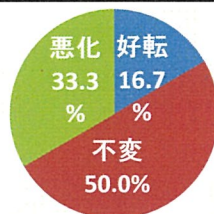
増加	不変	減少
6	21	3



### 【景況判断】

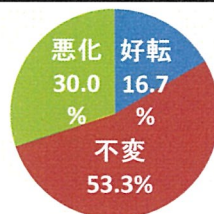
前年同期比

好転	不変	悪化
5	15	10



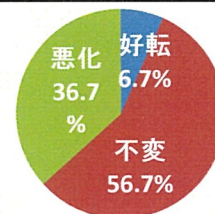
前期比

好転	不変	悪化
5	16	9

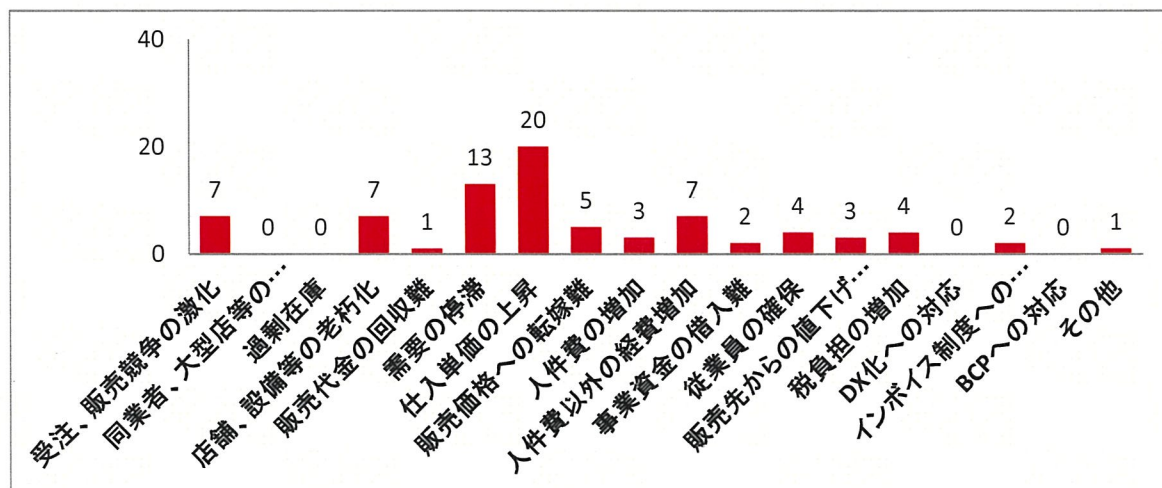


今後の見通し

好転	不変	悪化
2	17	11



### 【経営上の問題点】



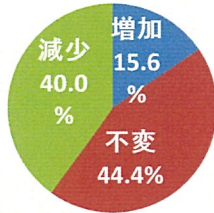
## (2) 建設業

「売上」について、一部事業所で「増加」との回答が前年比5.3ポイント増えたものの、昨年の業績不振からさらに「不変・減少」と回答した企業は85%近くとなり、経営環境は依然厳しい状況にあることがうかがえる。今後も物価上昇による建設資材の高騰が利益を圧迫し、収益力向上につながらないことが見込まれ、引き続き厳しい状況は続くとの見方が強い。経営上の問題点では、1位「仕入単価の上昇」、2位「人件費以外の経費増加」、3位に「需要の停滞」となっている。なお、建設業では特に「従業員の確保」に関して課題としている事業所も多く、離職率が高く求職者が少ない状況から外国人労働者の採用を行う事業所もあり、今後も課題解決に向けた取組がさらに重要である。

### 【売上高】

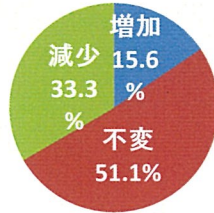
前年同期比

増加	不変	減少
14	40	36



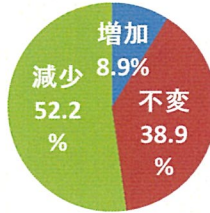
前期比

増加	不変	減少
14	46	30



今後の見通し

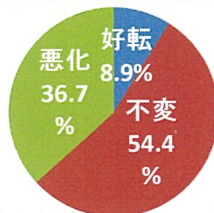
増加	不変	減少
8	35	47



### 【採算】

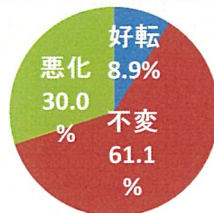
前年同期比

好転	不変	悪化
8	49	33



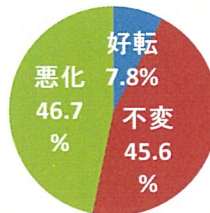
前期比

好転	不変	悪化
8	55	27



今後の見通し

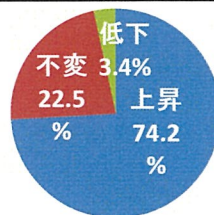
好転	不変	悪化
7	41	42



### 【仕入単価】

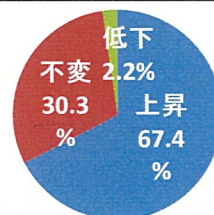
前年同期比

上昇	不変	低下
66	20	3



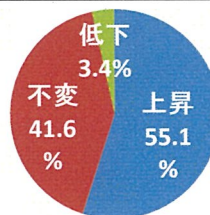
前期比

上昇	不変	低下
60	27	2



今後の見通し

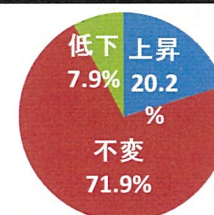
上昇	不変	低下
49	37	3



### 【販売（客）単価】

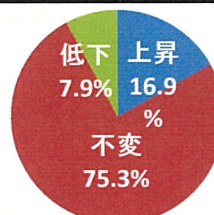
前年同期比

上昇	不変	低下
18	64	7



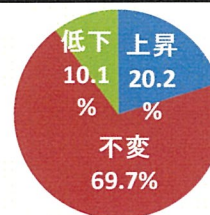
前期比

上昇	不変	低下
15	67	7



今後の見通し

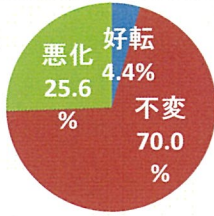
上昇	不変	低下
18	62	9



### 【資金繰り】

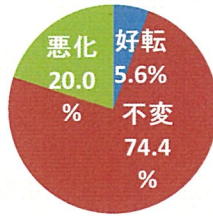
前年同期比

好転	不変	悪化
4	63	23



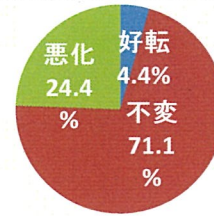
前期比

好転	不変	悪化
5	67	18



今後の見通し

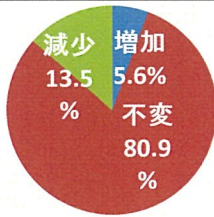
好転	不変	悪化
4	64	22



### 【雇用動向】

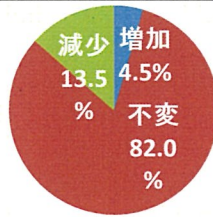
前年同期比

増加	不変	減少
5	72	12



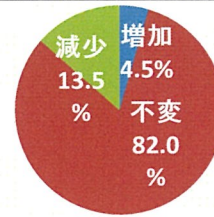
前期比

増加	不変	減少
4	73	12



今後の見通し

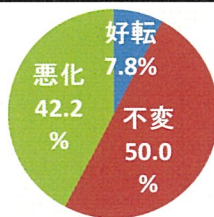
増加	不変	減少
4	73	12



### 【景況判断】

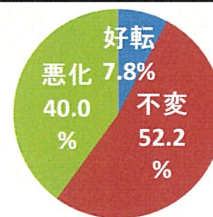
前年同期比

好転	不変	悪化
7	45	38



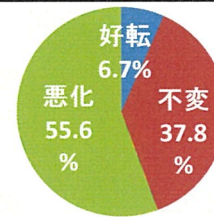
前期比

好転	不変	悪化
7	47	36

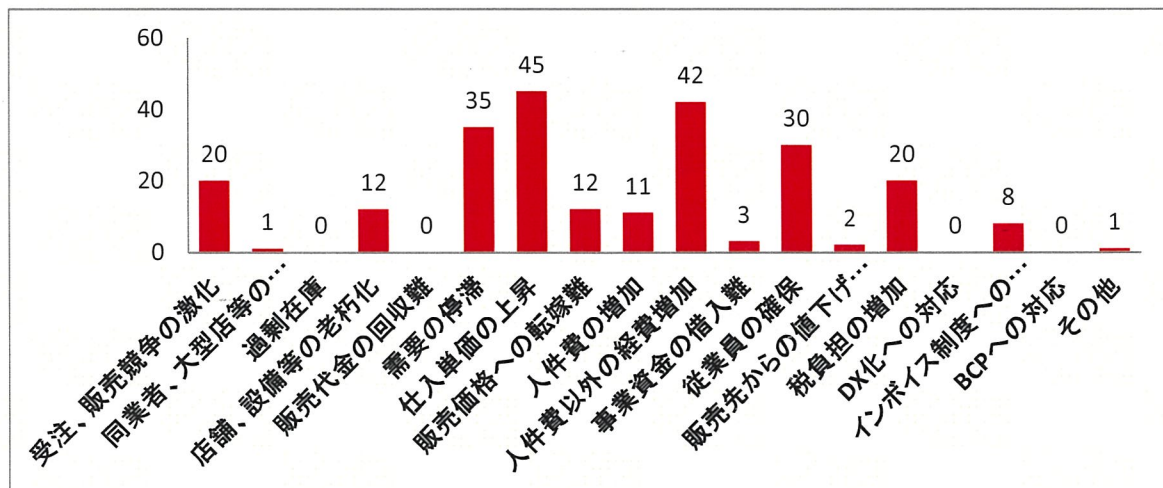


今後の見通し

好転	不変	悪化
6	34	50



### 【経営上の問題点】





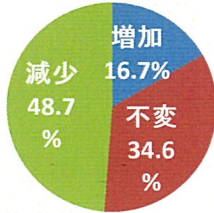
### (3) 卸・小売業

コロナ禍からの脱却が進み、販促イベントの実施など消費活動は徐々に回復傾向にあるものの、物価高騰の影響は大きく、「仕入単価」の「上昇」との回答が約73%、「採算」の悪化との回答が約50%となるなど販売経費の負担増も相まって収益力の低下が見受けられ、業績回復には時間を要するものと見込まれる。また、今後の「景況判断」についても「悪化」と回答する事業所は64.1%と全業種の中で最も多く、さらなる物価上昇による消費への影響を懸念する等、今後も厳しい経営環境が続く見方が強い。経営上の問題点では「仕入価格の上昇」、「需要の停滞」、「人件費以外の経費増加」が上位を占め、収益力向上のため適正利益を確保する対策が必要である。

#### 【売上高】

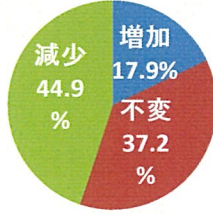
前年同期比

増加	不変	減少
13	27	38



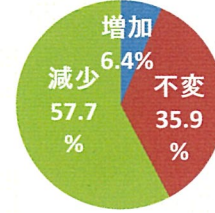
前期比

増加	不変	減少
14	29	35



今後の見通し

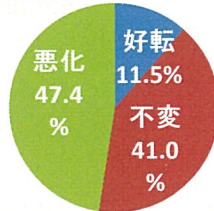
増加	不変	減少
5	28	45



#### 【採算】

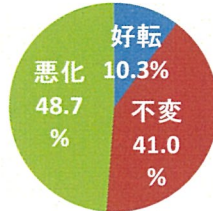
前年同期比

好転	不変	悪化
9	32	37



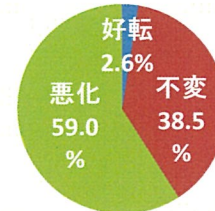
前期比

好転	不変	悪化
8	32	38



今後の見通し

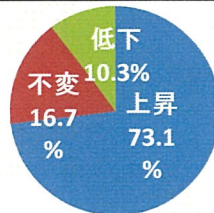
好転	不変	悪化
2	30	46



#### 【仕入単価】

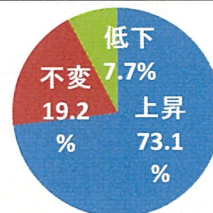
前年同期比

上昇	不変	低下
57	13	8



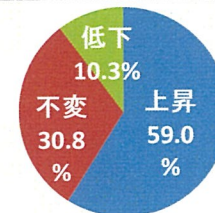
前期比

上昇	不変	低下
57	15	6



今後の見通し

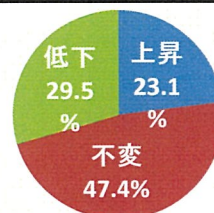
上昇	不変	低下
46	24	8



#### 【販売（客）単価】

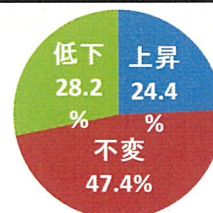
前年同期比

上昇	不変	低下
18	37	23



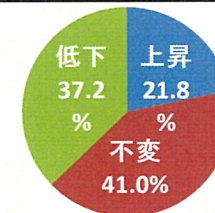
前期比

上昇	不変	低下
19	37	22



今後の見通し

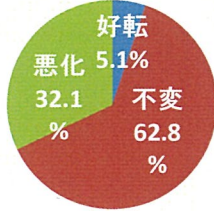
上昇	不変	低下
17	32	29



### 【資金繰り】

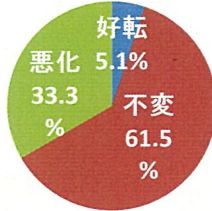
前年同期比

好転	不変	悪化
4	49	25



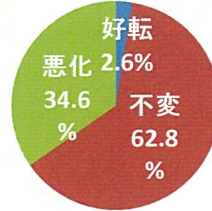
前期比

好転	不変	悪化
4	48	26



今後の見通し

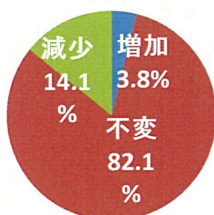
好転	不変	悪化
2	49	27



### 【雇用動向】

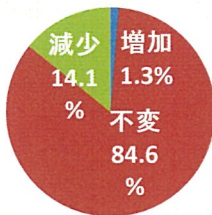
前年同期比

増加	不変	減少
3	64	11



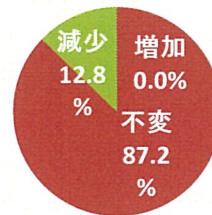
前期比

増加	不変	減少
1	66	11



今後の見通し

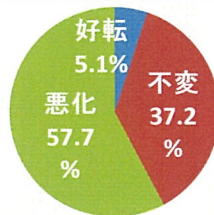
増加	不変	減少
0	68	10



### 【景況判断】

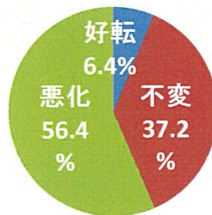
前年同期比

好転	不変	悪化
4	29	45



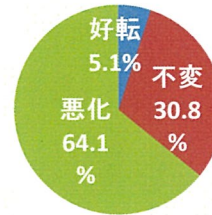
前期比

好転	不変	悪化
5	29	44

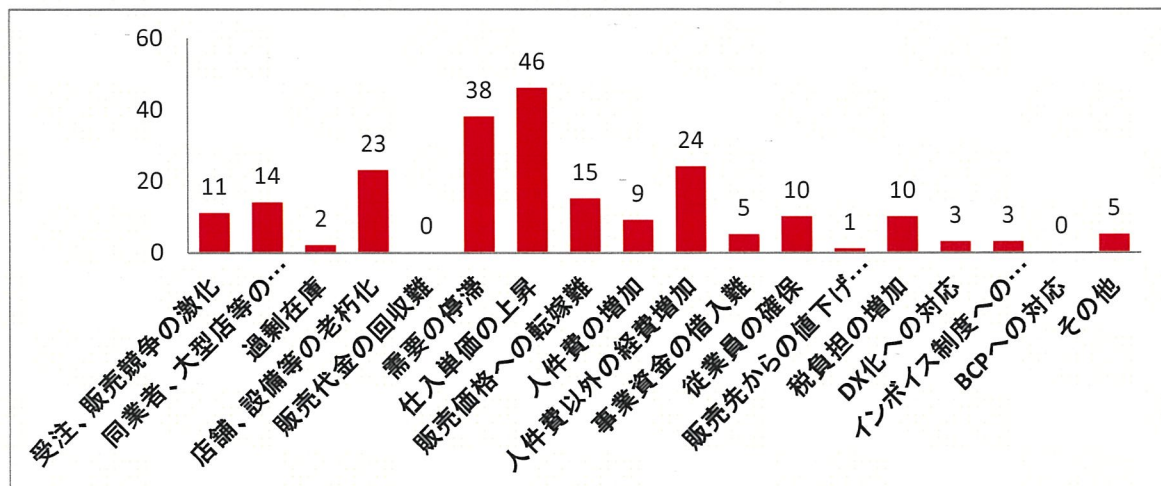


今後の見通し

好転	不変	悪化
4	24	50



### 【経営上の問題点】



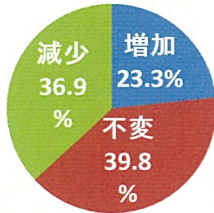
#### (4) サービス業他

新型コロナウイルスの「5類」移行に伴い移動や会食などのサービス消費は回復傾向であり、業種により差はあるものの「売上」・「採算」における「減少・悪化」について前年比約20ポイント前後の減少となるなど、業況は緩やかな持ち直しの動きがうかがえる。特に飲食業では客足が戻りつつある中、価格転嫁を実施することで適正利益の確保に努めている事業者が多く見受けられた。しかし、今後の見通しにおける、「景況判断」について46.6%が「悪化」と回答するなど、さらなる物価上昇による消費減退、人件費を含めた経費増加による収益力低下が懸念される。経営上の問題点では、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「人件費以外の経費増加」となった。

##### 【売上高】

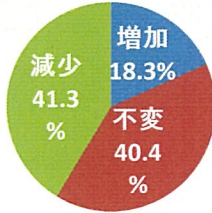
前年同期比

増加	不変	減少
24	41	38



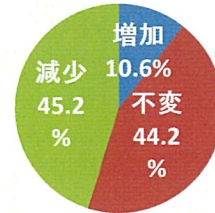
前期比

増加	不変	減少
19	42	43



今後の見通し

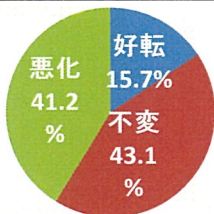
増加	不変	減少
11	46	47



##### 【採算】

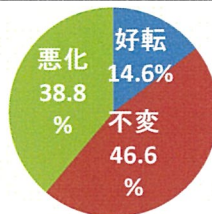
前年同期比

好転	不変	悪化
16	44	42



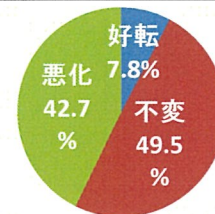
前期比

好転	不変	悪化
15	48	40



今後の見通し

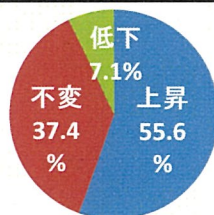
好転	不変	悪化
8	51	44



##### 【仕入単価】

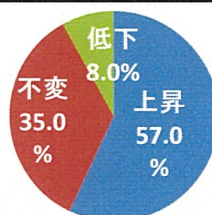
前年同期比

上昇	不変	低下
55	37	7



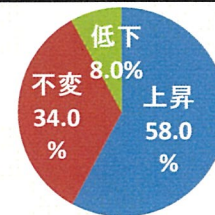
前期比

上昇	不変	低下
57	35	8



今後の見通し

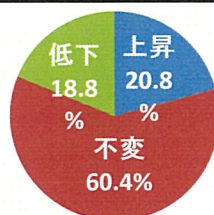
上昇	不変	低下
58	34	8



##### 【販売（客）単価】

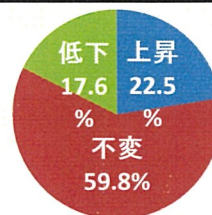
前年同期比

上昇	不変	低下
21	61	19



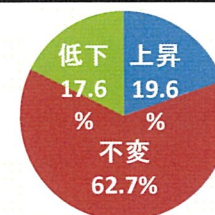
前期比

上昇	不変	低下
23	61	18



今後の見通し

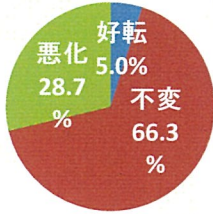
上昇	不変	低下
20	64	18



【資金繰り】

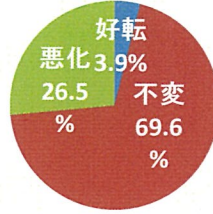
前年同期比

好転	不変	悪化
5	67	29



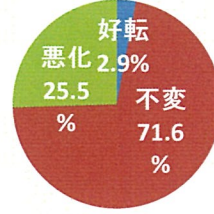
前期比

好転	不変	悪化
4	71	27



今後の見通し

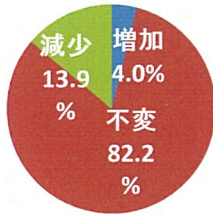
好転	不変	悪化
3	73	26



【雇用動向】

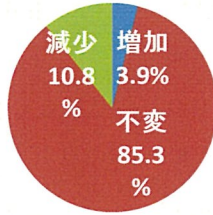
前年同期比

増加	不変	減少
4	83	14



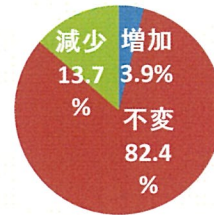
前期比

増加	不変	減少
4	87	11



今後の見通し

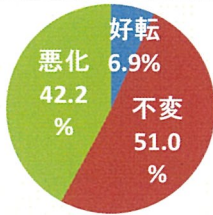
増加	不変	減少
4	84	14



【景況判断】

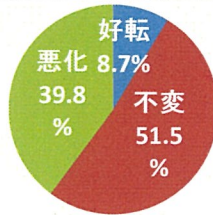
前年同期比

好転	不変	悪化
7	52	43



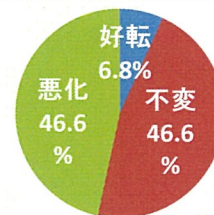
前期比

好転	不変	悪化
9	53	41

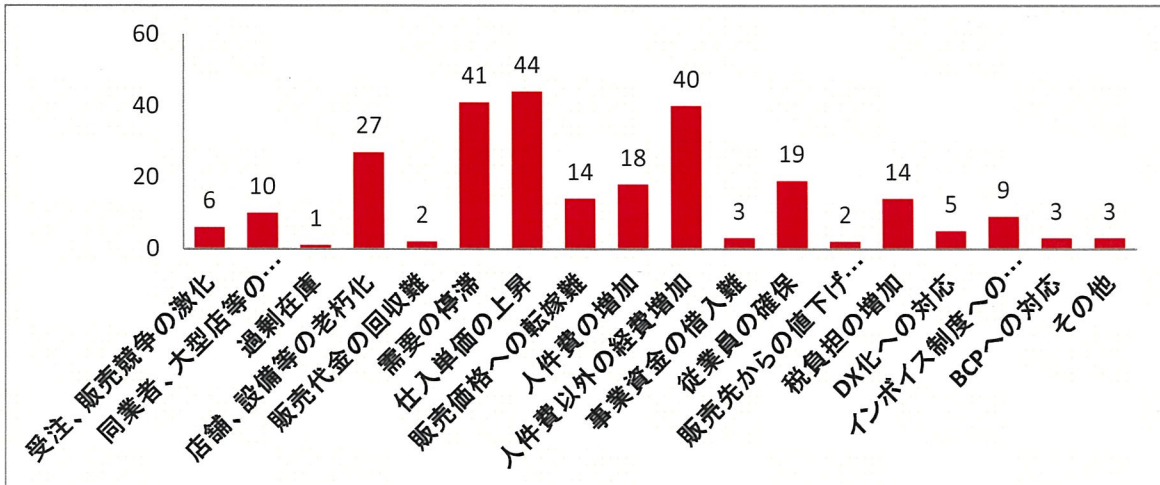


今後の見通し

好転	不変	悪化
7	48	48



【経営上の問題点】





R5 業種別集計データ

1 製造業

	有	無	合計
後継者の有無	8	22	30

26.7% 73.3%

	前年同期比			前期比			今後の見通し		
	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下
売上	7	15	8	9	12	9	7	14	9
採算性	5	14	11	4	16	10	4	16	10
仕入単価	23	7	0	23	7	0	20	9	1
販売(客)単価	11	16	3	8	18	4	9	16	5
資金繰り	2	22	6	2	20	8	3	19	8
雇用動向	4	22	4	4	22	4	6	21	3
景況判断	5	15	10	5	16	9	2	17	11

2 建設

	有	無	合計
後継者の有無	35	55	90

38.9% 61.1%

	前年同期比			前期比			今後の見通し		
	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下
売上	14	40	36	14	46	30	8	35	47
採算性	8	49	33	8	55	27	7	41	42
仕入単価	66	20	3	60	27	2	49	37	3
販売(客)単価	18	64	7	15	67	7	18	62	9
資金繰り	4	63	23	5	67	18	4	64	22
雇用動向	5	72	12	4	73	12	4	73	12
景況判断	7	45	38	7	47	36	6	34	50

3 卸・小売業

	有	無	合計
後継者の有無	24	54	78

30.8% 69.2%

	前年同期比			前期比			今後の見通し		
	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下
売上	13	27	38	14	29	35	5	28	45
採算性	9	32	37	8	32	38	2	30	46
仕入単価	57	13	8	57	15	6	46	24	8
販売(客)単価	18	37	23	19	37	22	17	32	29
資金繰り	4	49	25	4	48	26	2	49	27
雇用動向	3	64	11	1	66	11	0	68	10
景況判断	4	29	45	5	29	44	4	24	50

4 サービス他

	有	無	合計
後継者の有無	30	74	104

28.8% 71.2%

	前年同期比			前期比			今後の見通し		
	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下	増加・好転・上昇	不変	減少・悪化・低下
売上	24	41	38	19	42	43	11	46	47
採算性	16	44	42	15	48	40	8	51	44
仕入単価	55	37	7	57	35	8	58	34	8
販売(客)単価	21	61	19	23	61	18	20	64	18
資金繰り	5	67	29	4	71	27	3	73	26
雇用動向	4	83	14	4	87	11	4	84	14
景況判断	7	52	43	9	53	41	7	48	48

	経営上の問題点	回答数
1 101	受注、販売競争の激化	7
2 102	同業者、大型店等の進出	0
3 103	過剰在庫	0
4 104	店舗、設備等の老朽化	7
5 105	販売代金の回収難	1
6 106	需要の停滞	13
7 107	仕入単価の上昇	20
8 108	販売価格への転嫁難	5
9 109	人件費の増加	3
10 110	人件費以外の経費増加	7
11 111	事業資金の借入難	2
12 112	従業員の確保	4
13 113	販売先からの値下げ要請	3
14 114	税負担の増加	4
15 115	DX化への対応	0
16 116	インボイス制度への対応	2
17 117	BCPへの対応	0
18 118	その他	1

	経営上の問題点	回答数
1 201	受注、販売競争の激化	20
2 202	同業者、大型店等の進出	1
3 203	過剰在庫	0
4 204	店舗、設備等の老朽化	12
5 205	販売代金の回収難	0
6 206	需要の停滞	35
7 207	仕入単価の上昇	45
8 208	販売価格への転嫁難	12
9 209	人件費の増加	11
10 210	人件費以外の経費増加	42
11 211	事業資金の借入難	3
12 212	従業員の確保	30
13 213	販売先からの値下げ要請	2
14 214	税負担の増加	20
15 215	DX化への対応	0
16 216	インボイス制度への対応	8
17 217	BCPへの対応	0
18 218	その他	1

	経営上の問題点	回答数
1 301	受注、販売競争の激化	11
2 302	同業者、大型店等の進出	14
3 303	過剰在庫	2
4 304	店舗、設備等の老朽化	23
5 305	販売代金の回収難	0
6 306	需要の停滞	38
7 307	仕入単価の上昇	46
8 308	販売価格への転嫁難	15
9 309	人件費の増加	9
10 310	人件費以外の経費増加	24
11 311	事業資金の借入難	5
12 312	従業員の確保	10
13 313	販売先からの値下げ要請	1
14 314	税負担の増加	10
15 315	DX化への対応	3
16 316	インボイス制度への対応	3
17 317	BCPへの対応	0
18 318	その他	5

	経営上の問題点	回答数
1 401	受注、販売競争の激化	6
2 402	同業者、大型店等の進出	10
3 403	過剰在庫	1
4 404	店舗、設備等の老朽化	27
5 405	販売代金の回収難	2
6 406	需要の停滞	41
7 407	仕入単価の上昇	44
8 408	販売価格への転嫁難	14
9 409	人件費の増加	18
10 410	人件費以外の経費増加	40
11 411	事業資金の借入難	3
12 412	従業員の確保	19
13 413	販売先からの値下げ要請	2
14 414	税負担の増加	14
15 415	DX化への対応	5
16 416	インボイス制度への対応	9
17 417	BCPへの対応	3
18 418	その他	3